

## パレスチナ暫定自治政権ガザ自治区 2003年5月～9月（鈴木 基）

毎日のように、難民キャンプを巡り、訪問診療を行なった。診療中に困るのは、近所で銃撃がはじまると、聴診できなくなることである。

一緒に仕事をしていた当時大学生のパレスチナ人通訳は、英語、フランス語、スペイン語に堪能な優秀な若者だった。将来は留学して言語学の研究をしたいと語っていたが、その後、イスラエル側に拘束されたという報道があり、現在まで音信不通である。